

- 問1 柿本人麻呂が現在の香川県坂出市にある沙弥島（しゃみじま）に立ち寄った際に詠んだ歌が収録されていることでも知られる、奈良時代の歌集「万葉集」の構成に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）
- 醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集である。
 - 鎌倉時代初期に後鳥羽上皇の命で編纂され、繊細で情熱的な歌風が特徴である。
 - 漢字のへんやつくりの一部をとって作られた「カタカナ」を用いて、全ての歌が記されている。
 - 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。
- 問2 奈良時代の天平文化は、大陸との活発な交流を背景とした国際色彩豊かな文化として知られています。平城京の東側に位置する東大寺の境内にあり、シルクロードを通じてもたらされた世界各地の工芸品や文書が現代まで大切に保管されてきた、校倉造（あぜくらづくり）の倉庫を何といいますか。（2023年 愛知県公立入試 類似）
- 正倉院
 - 唐招提寺
 - 興福寺
 - 法隆寺
- 問3 奈良時代の743年に出土された、新しく開墾した土地について、期限を設けずに永久に自分のものにすることを認めた法令を何といいますか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- 三世一身の法
 - 大宝律令
 - 墾田永年私財法
 - 班田収授法
- 問4 律令制度下の土地の仕組みにおいて、6歳以上の男女に与えられ、死後には政府へ返却することが定められていた土地を「口分田」と呼びます。この口分田の運用実態に関する説明として正しいものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
- 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。
 - 本人が死亡した後も、子孫が代々耕作権を引き継ぐことが認められた。
 - 売買や譲渡が自由に行える、個人の完全な私有地であった。
 - 新しく開墾した者が、永久に自分の土地にできる制度に基づいた土地であった。
- 問5 8世紀の日本において、聖武天皇が国分寺建立の詔（みことり）や大仏造立の詔を出した歴史的背景と目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
- 戦乱で亡くなった多くの武士や民衆を供養し、極楽往生を願う念仏の教えを全国の農民に普及させるため。
 - 日本古来の神々と仏教を一体とする考え方を広めることで、地方の豪族が持つ独自の宗教的権威を否定するため。
 - 寺院に国民の戸籍を管理させる制度を整えることで、税の徴収を確実にし、幕府の財政基盤を強固にするため。
 - 感染症の蔓延や貴族の反乱による社会の動揺を、仏教の教えに基づいた国家的な祈りによって鎮め、国を安定させるため。
- 問6 奈良時代に編纂された「風土記」の記述内容として、当時の政府が地方を管理する上で重視した視点に当てはまらないものはどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）
- 地名の由来や、古くからその地域に伝わっている伝説
 - その土地が農業に適しているかなどの肥沃の状態
 - 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史
 - その土地で得られる動植物や鉱物などの産物の種類
- 問7 奈良時代の天平文化を代表する文化財の一つで、大伴家持が編纂に関わったとされる、日本に現存する最古の歌集を何といいますか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
- 万葉集
 - 古今和歌集
 - 新古今和歌集
 - 懷風藻
- 問8 律令制度における兵役の一つである「防人」について、その実態を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 三重県公立入試 類似）
- 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。
 - 都の宮中の警備を目的とし、全国の農民が1年の任期で交互に派遣された。
 - 外国船の来航に備えるため、江戸幕府が西国の諸大名に命じて組織させた。
 - 東北地方の蝦夷の反乱を抑えるため、志願した農民が永住を前提に派遣された。
- 問9 8世紀前半、聖武天皇の時代に都の平城京を中心に栄えた、仏教と唐の文化の影響を強く受けた国際的な文化を何といいますか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
- 天平文化
 - 飛鳥文化
 - 弘仁・貞観文化
 - 国風文化
- 問10 奈良時代に九州北部に配置された「防人（さきもり）」について、この制度が設けられた背景や実態を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2022年 京都府公立入試 類似）
- 地方の有力な武士が結成した軍事組織であり、平城京の警備や天皇の身辺警護を主な任務とした。
 - 源頼朝が全国の要所に設置を認めさせたもので、土地の管理や年貢の徴収を行うことを目的とした。
 - 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による侵攻の脅威に備えて国防を強化するために設置された。
 - 東北地方の蝦夷と呼ばれた人々ととの戦いに備え、近畿地方の農民を北関東へ移住させた軍事制度である。
- 問11 古代日本の律令国家において、戸籍に登録された6歳以上の人々に、生きている間だけ一定の面積の田（口分田）を分け与え、死後は国に返還させた制度を何といいますか。（2015年 長野県公立入試 類似）
- 太閤検地
 - 公地公民の制
 - 班田収授法
 - 地租改正
- 問12 8世紀初めに完成した日本の歴史書について、稗田阿礼が暗誦した内容を太安万侶が書き記し、神話から推古天皇までの事柄をまとめた書物の名称を選びなさい。（2023年 山形県公立入試 類似）
- 万葉集
 - 日本書紀
 - 古事記
 - 風土記
- 問13 鑑真が唐招提寺を拠点として、当時の日本社会や仏教界において果たした役割や背景として最も適切な説明を次から選びなさい。（2022年 東京都公立入試 類似）
- 武士の間に禅宗を広め、質素で力強い文化の形成に寄与した
 - 大規模な灌漑工事や橋の建設などの社会事業を推進し、地方の農村を再建した
 - 正しい僧侶のあり方を定めた戒律を伝え、公式に僧となるための制度を整えた
 - 浄土信仰を広めることで、戦乱に苦しむ民衆の救済を第一の目的とした
- 問14 飛鳥時代から平安時代にかけての古代の日本で行われた、唐との交流やその影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2025年 北海道公立入試 類似）
- 朱印船を用いた貿易が盛んになり、その航路を利用して鑑真が古代の日本へ招かれた。
 - 中世の時代に遣唐使が派遣され、鑑真によって新しい仏教の教えが伝えられた。
 - 遣唐使に代わって中世の朱印船が派遣されるようになり、大陸の文化が日本に広まった。
 - 遣唐使の派遣を通じて唐の文化や制度が取り入れられ、僧侶の鑑真が来日した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。	万葉集は、特定の階級に限定されず、天皇から庶民まで多様な身分の歌が収められているのが最大の特徴です。柿本人麻呂のような宮廷歌人が活躍する一方で、辺境の警備に駆り出された「防人」の悲哀や家族への思いを詠んだ歌も収録されており、当時の社会状況を幅広く反映しています。また、表記には漢字の意味や音を借りた「万葉仮名」が使われています。
問2	答え 1 正倉院	聖武天皇の遺愛品をはじめとする多数の宝物が収蔵されている施設です。三角形の材木を積み上げた校倉造という高床式の構造によって、湿気から宝物を守る工夫がなされていました。ペルシャ（現在のイラン）などからもたらされた品々が含まれることから、「シルクロードの終着点」とも呼ばれます。
問3	答え 3 墾田永年私財法	奈良時代、人口の増加によって農民に配る口分田が不足したため、政府は開墾を奨励するためにこの法令を出しました。それまでは「土地は国家のもの」とする公地公民の原則がありましたが、この法令によって土地の永久私有が認められるようになりました。723年に出された、三代に限り私有を認める「三世一身の法」と混同しないよう注意が必要です。
問4	答え 1 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。	律令制度における口分田は、国家から一時的に貸し与えられた土地という性質を持っていました。政府は正確な人数や年齢を把握するために6年ごとに「戸籍」を作成し、それをもとに公平に配分し直す班田収授を行いました。後に認められる「墾田永年私財法」のような土地の私有化とは異なり、個人の売買や世襲は原則として禁じられていた点が特徴です。
問5	答え 4 感染症の蔓延や貴族の反乱による社会の動揺を、仏教の教えに基づいた国家的な祈りによって鎮め、国を安定させるため。	聖武天皇の治世では、天然痘の流行による人口減少や、藤原広嗣の乱といった政治的混乱が相次ぎました。天皇はこうした災厄を仏教の加護によって取り除こうと考え、鎮護国家の思想の下で大規模な仏教施設の整備を行いました。檀家制度は江戸時代、浄土信仰の普及は平安時代末期以降の動きであるため、奈良時代の背景としては不適切です。
問6	答え 3 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史	風土記はあくまで地方ごとの自然環境や文化、資源を記録した「地理書」としての性格を持っています。天皇の系譜や国家の成り立ちといった公式な歴史をまとめたものは「古事記」や「日本書紀」であり、地方の状況を報告させる目的で作成された風土記とはその役割が区別されています。
問7	答え 1 万葉集	奈良時代の略年表において、聖武天皇の時期を中心に栄えた天平文化の代表作として位置づけられています。約4500首もの歌が収められており、当時の人々の思想や言語を知る上でも極めて重要な史料です。
問8	答え 1 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。	白村江の戦いで敗北後、大陸からの侵攻に備えるために九州北部の防衛体制が強化されました。防人はその中核を担いましたが、家族と離れて遠方へ赴く苦しみや生活の困窮は激しく、その様子は『万葉集』に収録された「防人歌」からも読み取ることができます。
問9	答え 1 天平文化	奈良時代の代表的な文化で、遣唐使によってもたらされた唐の文化や仏教が深く結びついています。国際色が豊かであることが特徴であり、聖武天皇の時代にその最盛期を迎えました。
問10	答え 3 白村江の戦いで敗北を受け、唐や新羅による侵攻の脅威に備えて国防を強化するために設置された。	7世紀後半の白村江の戦いで日本（倭）が唐・新羅の連合軍に敗れた後、政府は大陸からの報復や侵攻を恐れ、九州北部に大宰府を置いてその防備を固めました。この国防の最前線に配置されたのが防人です。東国の農民が主に選ばれた理由は、彼らが武芸に優れていると考えられていたためですが、実際には家族を伴うことも許されず、生活は困窮を極めました。
問11	答え 3 班田収授法	大化の改新から律令国家の成立にかけて整備された土地制度です。すべての土地と人民は国家のものとする「公地公民」の原則に基づき、国民に生活の基盤となる田を与える一方で、そこから「租」などの税を徴収することを目的としていました。
問12	答え 3 古事記	天武天皇の命により、帝紀や旧辞を整理する形で編さんが始まりました。稗田阿礼が読み上げた伝承を太安万侶が記録したもので、日本の成り立ちを物語のように記しています。同時期の『日本書紀』が中国の正史を意識して漢文で書かれたのに対し、独自の文体で書かれているのが特徴です。
問13	答え 3 正しい僧侶のあり方を定めた戒律を伝え、公式に僧となるための制度を整えた	当時の日本では、税を逃れるために勝手に僧侶を名乗る者が増えていたため、聖武天皇らは仏教を統制し、僧侶の質を高める必要がありました。鑑真は、僧侶が守るべき厳格なルールである「戒律」を伝え、正式な儀式を経て僧侶を認める制度を確立しました。唐招提寺は、この戒律を重んじる律宗の修行の場として重要な役割を果たしました。
問14	答え 4 遣唐使の派遣を通じて唐の文化や制度が取り入れられ、僧侶の鑑真が来日した。	古代の日本は、唐の優れた制度や文化を吸収するために遣唐使を派遣しました。その交流のなかで、鑑真が日本の仏教の規律を整えるために多くの困難を乗り越えて来日しました。朱印船や中世という語句は、遣唐使が活躍した古代よりも後の時代の事象を指すため、不適切です。